

SAH IGNITE 2.0(エスエーエイチ イグナイト 2.0)の開催結果について

目的 SAH関係校（指定校・協力校）のこれまでの取組に関するストーリーを共有し、互いの理解を深める場を作ることで、各校の取組の推進に繋がります。また、生徒エージェンシーを活かし、SAHをIGNITE（火をつける）するきっかけとします。

日時 令和7年3月11日（火） 午後2時30分～午後4時30分

場所 群馬県庁 32階 NETSUGEN（ネツゲン）セミナースペース

内容

- (1) オープニング
- (2) A (Agency)シェアリング
前橋南高校（前橋南生徒会の挑戦 ～SAHを通しての記録～）
高崎女子高校（文化祭・体育祭の運営を通して）
伊勢崎高校（他者との交流における思考や行動の変容～OECDプロジェクト無限大を通して～）
太田フレックス高校（太フレスポーツデー2024 ～生徒主体の新しい学校行事に挑戦！）
渋川女子高校（生徒主体の学校説明会）
富岡高校（文化祭毎年開催に向けた生徒主体の運営体制構築）
- (3) パネルディスカッション
パネラー
前橋南高校生徒・高崎女子高校生徒・伊勢崎高校生徒
モデレーター
群馬県教育委員会事務局高校教育課 指導主事
- (4) クロージング

参加者 SAH指定校・協力校 生徒37名、教員17名
教育委員会事務局職員等 19名
一般・保護者等 30名程度 合計約100名

当日の様子

- ・ SAH IGNITE は昨年7月に続き2回目の開催となり、今回は準備や運営等を生徒が主体となっており、進行は前橋南高校と高崎女子高校の生徒が担当しました。当日に向け、異なる学校の生徒がオンライン等を用いて事前打合せを行う等準備を進めました。
- ・ 取組を紹介するA（エー）シェアリングでは、困難や苦勞を乗り越えながら目標を達成した過程や、生徒が主体となって行動することの意義や挑戦の大切さ等について、生徒の思いを交えながら紹介がありました。
- ・ 後半のパネルディスカッションでは、担当指導主事のコーディネートで各校の取組を更に深掘りし、会場の参加者からも感嘆の声や生徒を激励する声が聞かれました。



パネルディスカッションの様子



生徒の発表の様子